

令和 3 年度事業の総括

令和 3 年度の沖繩観光は、令和 2 年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛等から、国内旅行需要は低調となった。しかし、令和 2 年度と比べると増加しており、ワクチン接種の普及やプロ野球キャンプの有観客での実施などが影響したものと考えられる。4 月のまん延防止等重点措置に続き、5 月から 9 月までの長期間にわたり緊急事態措置が適用され、感染状況が落ち着いた 11 月以降、段階的な経済活動再開により徐々に回復傾向が見られたものの、1 月以降再びまん延防止等重点措置が適用となるなど、コロナ禍による影響が大きかった。

入城観光客数は 327 万 4,300 人で、前年度比で 69 万 700 人、率にして 26.7% の増加となり、3 年ぶりに増加に転じた。しかし、対前々年度比では 619 万 4,900 人の減率にして 65.4% の減少となっており厳しい状況が続いている。

外国人観光客についても、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、台湾・中国・香港・韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置がとられたことにより外国人客がゼロに等しい状況であった。

名護市観光協会では、当初計画を予定していた公益目的事業として 4 月の海の安全祈願祭とビーチクリーン活動を実施し、8 月の名護市長杯争奪全島ハーリー大会や名護さくら祭りは感染拡大によるまん延防止等重点措置適用の為 2 年連続中止や延期となった。

しかし、さくらのシーズンの楽しみ方を後押しできる取り組みとして、『名護いちばん桜めぐりフォト&スタンプラリー』事業を令和 4 年 2 月 1 日～28 日の期間実施し、市内 85 店舗の協力を頂いた。12 月の名護さくらの女王選考会は、個別による面接方式で開催を実施し 3 名の第 48 代の女王が誕生し現在活動を行っている。

また、会員向けにワクチンの早期接種を図る目的で、恩納村観光協会と連携し 7 月と 8 月に職域接種を行い、815 名の方々が 2 回接種を終えることができた。

新たな取り組みとして、コロナ禍で疲弊した観光事業者への救済支援のため、「宿泊施設・体験施設・観光施設」の早期需要回復を図る目的で、名護市の観光需要拡大キャンペーン『名護市観光産業支援事業』を実施し、加盟店には宿泊 36 施設・体験 37 施設・地域観光券 50 施設 合計 123 施設の協力を頂いた。

結びに、令和 4 年度の見通しとして、新型コロナウイルス感染症による影響が見込まれるものの、ワクチン接種の普及や GOTO トラベル事業の実施などによる旅行需要の回復が期待されると同時に名護市の観光事業者への救済支援事業も実施する。また、NHK 連続テレビ小説「ちむどんどん」の追い風を受け名護市を中心に北部やんばるが一つにつながり盛り上がる目的で、北部広域圏事務組合や北部地域観光協会・（一社）やんばる観光推進協議会と連携を図り観光回復に向けて精一杯取り組んでいく。

【会 議】

第 1 回理事会 【令和 3 年 6 月 10 日（木）15 時～ WEB 会議】

- ・令和 2 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・令和 2 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・名護さくら祭り事業移管及び預金の寄付について
- ・評議員開催日日時及び場所並びに議案事項について

第 1 回評議員会 【令和 3 年 6 月 21 日（月）付にて、書面決議】
（書面決議）

- ・令和 2 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・令和 2 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・名護さくら祭り事業移管及び預金の寄付について

第 2 回理事会 【令和 3 年 10 月 8 日（金）15 時～名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・名護市観光産業支援事業の件
- ・令和 3 年度収支補正予算承認の件
- ・理事候補者名簿承認の件

第 2 回評議員会 【令和 3 年 10 月 25 日（月）12 時～名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・名護市観光産業支援事業の件
- ・令和 3 年度収支補正予算承認の件
- ・理事選任承認の件
- ・評議員選任承認の件

第 3 回理事会 【令和 4 年 3 月 28 日（月）15 時～名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 4 年度事業計画（案）について
- ・令和 4 年度収支予算（案）について

【公益目的事業】

1 観光宣伝誘客・情報提供事業

(1) 観光案内事業

観光協会の案内窓口や電話による問い合わせについては、対前年と比較しても少し増加している状況にあるが、旅行に来る事前の情報としてパンフレットの郵送依頼は、前々年度 1575 件に対し前年度は 463 件・今年度は 495 件となり、コロナの影響で旅行マインドが低下していることが考えられる。

(2) ホームページによる情報提供及び発信

ホームページによる市内の観光地・観光施設・宿泊施設等の情報・各種イベント情報を掲載し、プロ野球キャンプ・賛助会員の紹介等に努めている。

今年度、300,000 件のページビュー数を目標としていたが、新型コロナウイルスの影響で、イベントページ等がみられなくなった影響で 221,471 件となったが、11 月～2 月までの期間に、名護市観光産業支援事業を実施した影響により 373,829 件増の 595,300 件のページビューとなった。

(3) 観光パンフレットの作成・配布

名護市が作成した、『食・飲・買・遊・道・走』のパンフレットや名護 GOGO マップについては、宿泊施設・観光施設へ配布を行った。

(4) ポスターの作成・配布・掲載

新型コロナウイルス感染症の影響により、名護さくら祭りが中止、本部半島三大さくら祭り（名護・本部・今帰仁）ポスター制作も見送った。

(5) 名護市観光協会創立 60 周年

記念誌の発刊について進めていたが、資料収集に時間がかかり、次年度へ持ち越しとなった。令和 4 年 7 月発刊予定。

(6) 県内外宣伝 PR 活動

(ア) テレビ・ラジオ・新聞・マスコミ関係者への取材協力

新型コロナウイルス感染症の影響により、すべてのイベントが中止となったが、名護市観光産業支援事業「7515 キャンペーン」を実施し、県内メディア及び OTA（じゃらんネット）を活用して告知を行った。

(イ) 名護市親善大使

新型コロナウイルス感染症の影響により、名護さくらの女王の活動も自粛し、県外での PR はすべて中止となりほとんど活動ができない状況の中で、ユー

チューブや SNS を活用して PR を行ったが、例年 40 件近い行事に参加していたが、昨年は 14 件・今年は 8 件となった。

(ウ) 観光キャラクター活用事業

名護市の公認キャラクター「名護親方」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内外・市内 PR は利用制限を行ったため利用者の問合せも少ない状況であった。

(エ) 沖縄修学旅行オンラインフェア及び説明会参加

令和 3 年度 沖縄修学旅行オンラインフェア（令和 3 年 10 月 25 日、26 日）にて、旅行社 5 社との商談会を実施した（場所：ホテルゆがふいんおきなわ）。商談の中で、令和 4 年 1 月のハーリー体験の予約を受けたが、コロナで中止となった。令和 3 年度沖縄修学旅行説明会（令和 4 年 1 月 28 日）は、コロナ感染拡大に伴い参加を辞退した（場所：TKP ガーデンシティ御茶ノ水）。

(オ) 第 43 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会

新型コロナウイルス感染症拡大により、ハーリー大会運営委員会・実行委員会を開催し、協議を行った結果参加者や大会関係者の安全と健康を考慮し 2 年連続の中止となった。

(カ) 第 60 回名護さくらまつり

新型コロナウイルス感染症拡大により、さくら祭り運営委員会・実行委員会を開催し、協議を行った結果参加者や祭り関係者の安全と健康を考慮し延期となった。60 回の節目との事で次年度 60 回まつりとして開催する。

市民並びに県民の皆様にはさくらシーズンの楽しみ方を後押しできるような取組として、回遊性向上および街の賑わいに資する目的で、スタンプラリーや SNS を活用した『桜』にまつわる景色や動画を投稿して盛り上げる企画【名護いちばん桜めぐりフォト&スタンプラリー】事業を令和 4 年 2 月 1 日～28 日の期間実施し、市内 85 店舗の協力を頂き地域を盛り上げた。

※応募人数：416 名 参画店舗：85 店舗 協賛社：54 社 協賛商品：137 点

(キ) ふるさと納税返礼品増強

令和 3 年 4 月 23 日（金）に市商工会と連携し、名護市のふるさと納税返礼品の増強を図る目的で、観光事業者説明会を実施した。

説明会には市内 25 施設が参加し、15 施設が商品提示を行い参画頂いた。

(ク) 名護市観光産業支援事業 (7515 キャンペーン)

コロナ禍で疲弊した観光事業者への救済支援として「宿泊施設・体験施設・観光施設」の早期需要回復を図る目的で、名護市の観光需要拡大キャンペーン『名護市観光産業支援事業』を実施した。

加盟店舗数・・・宿泊施設 36 店舗 体験施設 35 店舗 地域観光券 50 店舗

総換金実績・・・119,436,000 円

換 金 率・・・88%

未 換 金・・・15,564,000 円

2 受入体制強化事業

(1) スポーツコンベンション受入支援事業

北海道日本ハムファイターズ春季キャンプの受入れについて、ファイターズ名護協会（事務局：商工会）と連携し、球場周辺をのぼりや花壇の設置作業を行った。名護ファイターズクラブ後援会（事務局：観光協会）において、2月26日・27日のオープン戦の応援やチケット販売の協力を行った。

(2) 体験学習等の推進事業

2021年度ハーリー体験予約は14件 実施件数1件（78名）

キャンセル数：1,709名（修学旅行12件、一般1件）

まちなか散策参加数：32名

(3) 名護さくらのまち推進事業（名護城のさくら整備に関する事）

総事業費 11,374 千円 ①キタボウル～名護城公園南口間 桜の植栽 114 本、②名護城公園南口～神社間 桜の植え付け 77 本、③名護城公園 さくらの園除伐作業を行った。その他、桜の里親を募集し 133 名の応募があった。

(4) 2021 海の安全祈願祭

海水浴やマリンスポーツ楽しむ市内外・県外からの多くの観光客を迎える為に、海の安全祈願祭を実施すると同時に会員の交流を目的に、ビーチクリーンも行った。

・クリーンアップ活動参加者約 150 名

・海の安全祈願祭 関係者 13 名

(5) 接遇マナー講習会

名護市に訪れる観光客に対する「おもてなしの心」で対応する為、賛助会員（観光施設）を主に、接客マナーを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。

(6) 友好都市物産展受入

北海道滝川市（マツオジンギスカン）

（名護夏祭り・名護桜祭り）

新型コロナウイルス感染症拡大により、イベントが中止となった。

(7) マイクロ観光の推進

（名護市コミュニティバス連携事業グルメ&サービスパス事業）

非常事態宣言解除後の観光経済回復を目的とし、令和3年9月1日から11月30日までの期間でサービスチケット形式の利用促進キャンペーンを行った。サービスチケット32,000枚発行、参加企業14社、利用実績は9月254名、10月162名、11月182名、合計598名。アンケートでは、コミュニティバス及びサービスパス企画の継続希望が多くみられた。

【収益事業】

(1) 市営駐車場指定管理事業

名護市港駐車場の一般利用について、昨年度9,350件の利用者に対し今年度は5,742件で3,608件（およそ38.6%）の減少となった。がじゅまる駐車場の一般利用については、昨年度1,434件に対し今年度は1,293件で141件（およそ9.8%）減少した。要因としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントの中止等で市民や観光客の利用低下が減少になったと考えられる。

当協会として、メインコンセプトに掲げている「おもてなしの心・安心・安全な観光づくり」を目指し利用しやすい駐車場管理運営業務を遂行し、市民をはじめ県内外のお客様が有効的に利用できるよう市街地の説明やパンフレット等を配布し観光案内機能を備えたサービスの提供で満足度を高める努力を行っている。環境整備についても担当部局と連携し、安心、安全な駐車場の整備を行っている。

(2) バス乗車券販売事業

沖縄エアシャトルバスの乗車券、名護・那覇間の高速バスの利用者の利便性を考え、市街地でも購入できる目的で当協会でも販売を行っている。

3 調査・研究事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、名護市においても第2次観光基本計画の見直しを検討する必要がある、目指すべき方向性の達成に向けた戦略を実行するためには、高度な専門人材が必要であると考えている。

今後とも、市当局の関係部署と連携を図り、目指すべき方向性について検討していく。

4 各種イベントの開催並びに主管事業

- ① 2021 海の安全祈願祭【4/7 実施】
- ② 2021 北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー【中止】
- ③ 第 43 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会【中止】
- ④ 第 48 代名護さくらの女王選考会【12/18 実施】
- ⑤ 第 60 回名護さくら祭り【延期】

5 各種イベントの協力事業

- ① 第 28 回羽地ダム鯉のぼり祭り【名護市主催 中止】
- ② 第 43 回名護夏祭り【商工会青年部主催 中止】
- ③ 第 32 回名護市青年エイサーまつり【祭り実行委員会主催 中止】
- ④ 第 33 回ツールド・おきなわ【3月に規模縮小して開催】
- ⑤ 第 34 回名護・やんばるツーデーマーチ【名護市主催 規模縮小実施】
- ⑥ 北海道日本ハムファイターズ春季キャンプ【有観客にて実施/2500名限定】
- ⑦ 第 63 回NAGOハーフマラソン【大会実行委員会主催 中止】

6 観光美化事業

- ① 21 世紀ビーチのクリーン活動【4/7 実施】
- ② 名護漁港構内のクリーン活動【8月予定/コロナウイルスの影響で中止】
- ③ 名護さくら育樹活動

名護市、さくらの会・観光協会、他市民総勢 150 名余りが参加をして 10 月 17 日（日）、3 月 21 日（日）の年 2 回、名護城周辺の草刈りや肥培管理を実施した。

7 特別支援事業

新型コロナウイルス感染症について、世界的に感染が拡大しさらに広がることへの不安から観光協会として商工会等と連携し市民の健康保持を最優先に拡大防止策の強化を図ると共に、沈静化後の対応策について、名護市長と名護市議会議長あてに要請を行った。

【賛助会員】

令和 3 年 4 月 1 日現在：182 社

令和 4 年 3 月 31 日現在：179 社【新規入会：4 社 退会：7 社】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済活動が左右される状況が継続している中、対前年より退会社数が減少しているものの当協会事業運営に影響がでている状況である。令和 3 年度の退会 7 社については、会社の統廃合や移転による状況が多かった。

業種内訳として、宿泊施設 1 社・飲食店 3 社・体験施設 1 社・旅行社 1 社・金融 1 社であった。

【ページビュー数】

月	ページビュー数 令和2年度	ページビュー数 令和3年度	増減
4月	10,097	11,223	1,126
5月	11,584	13,575	1,991
6月	14,189	12,293	△1,896
7月	17,445	14,678	△2,767
8月	60,502	14,899	△45,603
9月	40,275	14,193	△26,082
10月	29,287	40,535	11,248
11月	44,886	279,313	234,427
12月	12,293	70,842	58,549
1月	16,977	72,382	55,405
2月	13,766	32,163	18,397
3月	13,578	19,204	5,626
合計	284,879	595,300	310,421

全体的に、新型コロナウイルスによる自粛で「STEY HOME」の意識が強く、動向意欲が低下したと思慮できる。また、度重なるイベントの中止を受け、訪問者がイベント検索を行わなくなっていることも一つであると考えられる。

4月～5月はGWで、県民の県内移動が増加したこともあり施設情報閲覧が多く見られた。夏場は、緊急事態宣言と延長宣言があり観光業、社会経済はダメージを受けたが、当青年部によるグルメサービス企画ページが多く見られたことが良かった。

しかし、10月から緊急事態が解除となり、県民をはじめ県外からもアクセスが増加、また11月から名護市観光産業支援事業（7515キャンペーン）HPへのリンクページを参画事業者や多くの利用者が検索した結果ページビュー数が大幅な増加となった。

12月～3月にかけて、ページビュー数が前年度対比で増加傾向となったのは、北海道からのアクセスが多く、2月の北海道日本ハムファイターズのキャンプ情報等の訪問者が多かったと思慮できる。

また、さくらのシーズンの楽しみ方を後押しできる取り組みとして、『名護いちばん桜めぐりフォト&スタンプラリー』事業を令和4年2月1日～28日の期間実施したことにより1,562名の訪問者があった。

昨年同様20代から40代までの年代の訪問者が多く、旅行や外出に対する変化があり、名護市の自然、観光、遊び、レジャーなどアクティブに楽しむ方法を検索する傾向がみられたのは良かった点である。

結びに、名護市観光産業支援事業（7515キャンペーン）でのページビュー数が373,829件あり、全体として増加に転じた結果となった。